

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社
三菱地所コミュニティ株式会社

総戸数 322 戸の大規模マンションにおける「停電」・「断水」を想定した防災訓練を実施 ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン（福岡市中央区）

三菱地所レジデンス株式会社と三菱地所コミュニティ株式会社は 2020 年 2 月 8 日（土）、三菱地所レジデンスと西日本鉄道株式会社が分譲した大規模マンション「ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン」（福岡市中央区・総戸数 322 戸）（2019 年度グッドデザイン賞受賞）において、322 世帯を対象とした防災訓練を実施しました。

今回の防災訓練では、昨年発生した台風 15 号・19 号の経験から「停電」・「断水」を想定した訓練の必要性を認識し、停電・断水にも対応できる訓練プログラムとして、マンション内の防災倉庫に備えているマンホールトイレ・発電機・浄水装置を実際に使用する訓練を実施しました。また、三菱地所レジデンスがザ・パークハウス全物件にて提案しているマンション毎のオリジナルの「LIFE EYE'S 防災計画書」の概要説明も実施。防災に関する知識の向上を図るとともに、実際に災害が起こった際にすぐ行動ができることを目指しました。



▲提供公園への避難訓練



▲停電を想定した発電機使用訓練



▲断水を想定した浄水装置組立

【訓練メニュー】

- ・安否確認訓練
- ・避難訓練
- ・マンホールトイレ組立訓練
- ・凝固剤体験＋マンホールトイレ設置場所確認
- ・防災倉庫・防災備品説明
- ・発電機使用訓練
- ・浄水装置組立・使用方法説明
- ・「LIFE EYE'S 防災計画書」の概要説明

■実施した訓練プログラム

【A】 マンホールトイレ組立訓練 《「断水」に対応できる訓練プログラム》

防災倉庫に備えている「マンホールトイレ」を実際に組み立てる訓練。
参加者同士がコミュニケーションを図りながら組み立て、使い方を学びました。



【B】 凝固剤体験＋マンホールトイレ設置場所確認 《「断水」に対応できる訓練プログラム》

排水管が破損してマンホールトイレすら使えなくなることも想定して凝固剤を実際に体験する訓練。
また、建物の仕組みを理解し、設置するマンホールの場所を確認しました。



【C】 防災倉庫・防災備品説明

マンション内にある防災倉庫の場所を確認し、どのような備品が入っているのかを学ぶ訓練。
布担架や救出工具セットは実際に触れてもらい、どのようなシーンで使うのかを理解しました。



【D】 発電機使用訓練 ≪「停電」に対応できる訓練プログラム≫

防災倉庫に備えている「発電機」と「投光器」を実際に動かす訓練。

発電機は停電時の明かりの確保・スマートフォンの充電にも利用することができるもので、投光器を用いて実際にエンジンを稼働しました。



【E】 浄水装置組立・使用方法説明 ≪「断水」に対応できる訓練プログラム≫

防災倉庫に備えている「浄水装置」の組み立てと使用方法を確認する訓練。

組み立て方法を学びながら、“どんな水が浄水できるのか”等、浄水装置の仕組みも理解しました。



【F】 「LIFE EYE'S 防災計画書」の概要説明

災害時に落ち着いて計画的に協力・連携が図れるよう物件毎にオリジナルで作成している「防災計画書」の内容を確認します。



■参加者のコメント

「自宅の備えに関して何を備えれば良いかを見直すきっかけとなった」

「トイレの備えが必要だと思った」

「防災備品に実際に触れることで使い方を理解することができ良い機会となった」

「凝固剤を買いに行くなどすぐに行動しなければいけないと思った」

「マンホールトイレを実際に組み立てることで、思ったよりも簡単に組み立てられることが分かった」

「今回の訓練で学んだことを広げていき、防災備品を使える人をマンション内で増やしていきたい」

<防災訓練 概要>

■ 日 時 : 2020年2月8日(土) 10:00～13:00

■ 場 所 : ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン 及び 提供公園

■ 内 容 : 10:00～ 地震発生を全館放送にてアナウンス
→安否確認シートを玄関扉へ掲示、
階段にて提供公園に避難(防災バッグ持参)、避難者にそなえるカルタを配布
10:25～ AからCの各プログラムを各場所にて同時進行
【A】マンホールトイレ組立訓練 <<「断水」に対応>>
【B】凝固剤体験+マンホールトイレ設置場所確認 <<「断水」に対応>>
【C】防災倉庫・防災備品説明
11:40～ DからFの各プログラムを各場所にて同時進行
【D】発電機使用訓練 <<「停電」に対応>>
【E】浄水装置組立・使用方法説明 <<「断水」に対応>>
【F】「LIFE EYE'S 防災計画書」の概要説明

<物件概要>

所在地 : 福岡県福岡市中区桜坂3丁目 5-54

交通 : 福岡市地下鉄七隈線「桜坂」駅徒歩3分

開発面積 : 13,672.63 m²

敷地面積 : 5,199.05 m²

延べ床面積 : 35,099.32 m²

構造・規模 : 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上23階建

総戸数 : 322戸

竣工 : 2018年8月

施工会社 : 三井住友建設株式会社

管理会社 : 三菱地所コミュニティ株式会社

事業主 : 三菱地所レジデンス株式会社、西日本鉄道株式会社



■三菱地所グループの防災の取り組み

— 90年の想い：1923年の関東大震災からはじまる三菱地所グループ防災の歴史 —



三菱地所グループでは、1923年に発生した関東大震災以降、約90年にわたり大規模な防災訓練を実施しており、グループ全体で防災・減災に取り組んでいます。

写真は、関東大震災で丸の内に開設した臨時診療所。その壁には「ドナタデモ」と書かれています。この精神を受け継ぎ、マンション居住者に加え、世の中に役立つ防災活動を広く行っていきたいと考えました。

— 三菱地所グループの防災倶楽部 —

三菱地所グループでは、防災訓練を積極的に実施・サポートしており、防災意識の向上や訓練の進化・深化を目的に三菱地所レジデンス社員有志によるボランティア組織「三菱地所グループの防災倶楽部」を2014年10月に立ち上げました。防災倶楽部はマンション管理組合に対し新たな訓練メニューなどを提案しており、2019年1月～12月には三菱地所コミュニティが管理するマンション15物件・4,123世帯を対象とした防災訓練をサポート。これまで5年間で約90物件の防災訓練で協働しています。今後も災害に対し、迅速に対応できる体制構築を広く浸透させていくべく、防災力強化のための活動を行ってまいります。

— 「そなえるカルタ」と「そなえるドリル」：東日本大震災の声を届ける —

東日本大震災・熊本地震等の生の声を届けるために、実際に困ったことを「トイレ」・「食糧」・「情報」といった切り口で伝える防災ツール「そなえるカルタ」。

子どもと大人が家族を想定して考える防災ツール「そなえるドリル」。

自分や家族のことを実際に書き、大人と相談して答えを出す要素を取り入れ具体的な行動につなげます。

この「そなえるカルタ」と「そなえるドリル」は、ザ・パークハウスの防災プログラムホームページ上でどなたでもダウンロードが可能です。

ザ・パークハウスの防災プログラムホームページ

<http://www.mecsumai.com/bousai/>

